

Nikon


ニュービス
Nuvis 200

使用説明書

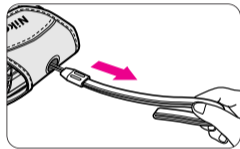
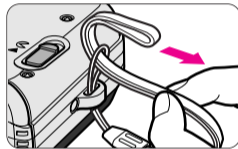
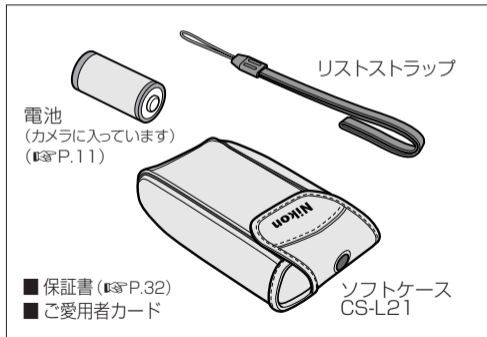


J

はじめに

このたびは、ニコン Nuvis(ニュービス)200をお買い上げいただき、ありがとうございます。
Nuvis 200はアドバンスフォトシステムのIX240カートリッジフィルムを採用したカメラです。
アドバンスフォトシステム対応カメラには、シンボルマーク  が表示されています。

付属品 次のものが揃っていることを確かめてください。



図のようにリストストラップを通します。



安全上のご注意

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。




表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。

- | | |
|--|--|
|  | 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

-  △記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止(してはいけないこと)の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す)が描かれています。

アフターサービスと保証について

保証書とご愛用者カードが付いていますのでご確認ください。
保証書の詳細は、「アフターサービスと保証について」(P.32)をご覧ください。

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影の際には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するか確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸経費及び利益の喪失等に関する損害)については補償いたしかねます。

安全上のご注意

警告



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガをすることがあります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをすることがあります。



すぐに
修理依頼を

電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る

発熱、発煙、焦げ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、火傷の原因となります。



すぐに
修理依頼を

電池を取り出す際、火傷に十分注意すること。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



使用禁止

可燃性ガスの雰囲気の中で使用しないこと
爆発、火災の原因になることがあります。



ファインダーより直接太陽や強い光を見ないこと

見ないこと 失明や視力障害になることがあります。



電池は幼児の手の届かない所に置くこと

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラの清浄に使用しないこと

使用禁止 火災や健康障害の原因となります。製品を破損します。

⚠ 注意



発光禁止

目の近くでスピードライトを発光しないこと
一時的な視力障害になることがあります。



感電注意

ぬれた手で操作しないこと
感電の原因となります。



放置禁止

製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること
ケガをしたり付属品や電池を飲み込むおそれがあります。



切り換え禁止

プリントタイプの切り換えは、ファインダーをのぞいたまましないこと
指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

安全上のご注意

注 意



保管注意

使用しないときは、レンズカバーを閉じて太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光がレンズに入射し、発火の原因となります。



移動禁止

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶつかけたりしてケガの原因となります。



歩行禁止

ファインダーをのぞきながら歩かないこと
つまずいたり、転倒したりしてケガの原因となります。

■ 使用説明書について

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関で新しい使用説明書をお求めください(有料)。



禁 止

電池を火に入れたり、ショート、分解、加熱をしないこと

破裂、発火の原因となります。



使用注意

電池に表示された警告・注意を守ること
破裂、発火の原因となります。



使用注意

使用説明書に表示された電池を使用すること
発熱、発火の原因となります。



使用注意

万一電池の電解液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流すこと

目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けること

もくじ

はじめに／付属品.....	2
安全上のご注意／表示について.....	3
もくじ.....	7
各部の名称.....	8
表示パネル.....	9
このカメラは、こんなことができます.....	10

カンタン撮影ガイド

準備しよう！

電源を入れ、電池容量を確認する／電池の交換.....	11
フィルムを入れる.....	12
IX240カートリッジフィルムについて.....	13
日付を入れる.....	14

撮影してみよう！

カメラの構え方／シャッターボタンの押し方.....	15
ファインダーを見る／プリントタイプを選ぶ.....	16
ズーミングする.....	17
ピントを合わせ、撮影する.....	18
ピントの合いにくいケース.....	19
フィルムを取り出す.....	20
現像・プリントに出す.....	21
フィルムを途中で巻き戻す.....	21

応用撮影ガイド

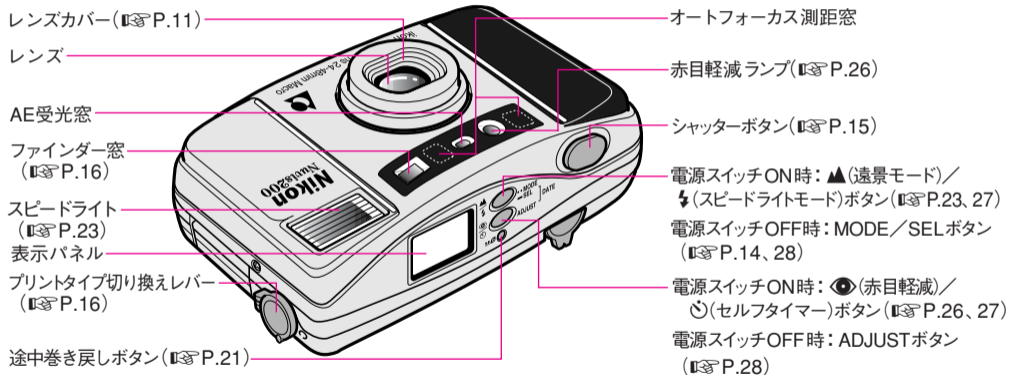
応用して楽しもう！

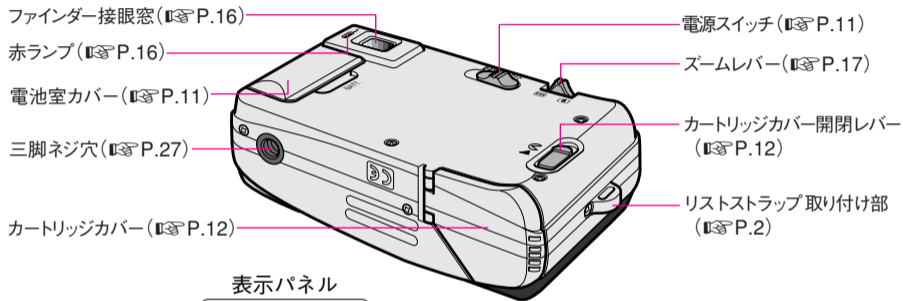
フォーカスロック撮影.....	22
いろいろなフラッシュ撮影.....	23
スピードライト自動発光撮影.....	23
スピードライトキャンセル撮影.....	24
スピードライト強制発光撮影.....	24
スローシンクロ撮影.....	25
赤目軽減発光撮影.....	26
セルフタイマー撮影.....	27
遠景撮影.....	27
日付と時刻を修正する.....	28

資料編

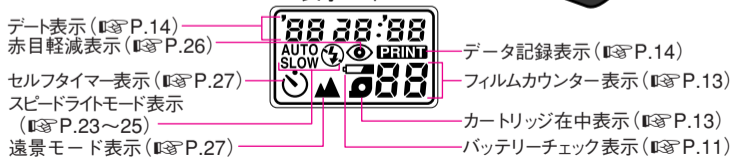
故障かな？と思ったら.....	30
アフターサービスと保証について.....	32
使用上のご注意.....	33
主な仕様.....	34

各部の名称






表示パネル



このカメラは、こんなことができます

- 縦横比が異なる3種類のプリントタイプが1コマごとに選べます。  P.16






C (クラシック)タイプ
(縦横比 2 : 3)



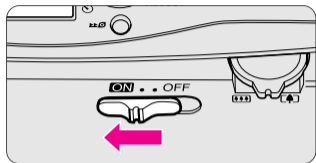
H (ワイドビジョン)タイプ
(縦横比 9 : 16)



P (パノラマ)タイプ
(縦横比 1 : 3)

- 2倍ズーム(焦点距離24~48mm)のズームアップが行えます。  P.17
- 暗い場所では、フラッシュが自動的に発光します。  P.23
- 被写体に60cmまで近づいて近接撮影できます。  P.18
- 電源をOFFにすると、レンズカバーが閉じ、ほこりやキズからレンズを保護します。

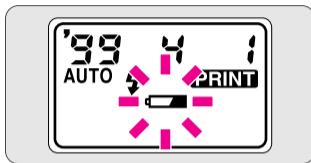
準備しよう！





1 電源をONにする。

- 電源がONになると、レンズカバーが開き、レンズが繰り出します。

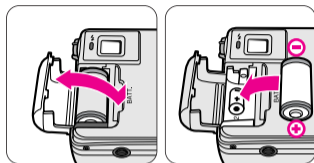
電源を入れ、電池容量を確かめる



2 電池容量を確かめる。

- 表示パネルに“”が点滅していたり、すべての液晶表示が消えているときは電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- 電池容量が充分なときは、“”が表示されません。

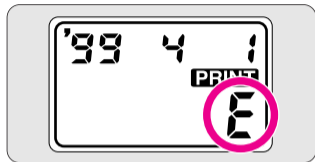
電池の交換




電池を交換する。

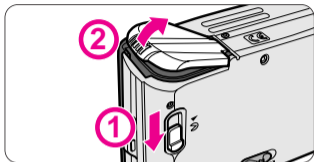
- ▼コインなどを使用して、電池室カバーを開ける。
- ▼新しい電池と交換する。
- ▼電池室カバーを閉じる。
- 3Vリチウム電池CR2を1個ご使用ください。
- 電池を取り出し、カメラの時計がリセットされたときは、日付・時刻を合わせてください。(P.28)

フィルムを入れる



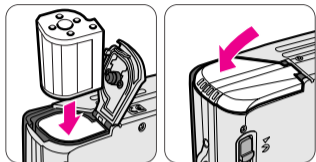
1 “E”の表示を確認する。

- 枚数が表示されているときは、撮影途中のフィルムが入っています。
- “E”とが表示されているときは、撮影済みフィルムが入っています。フィルムを取り出してください。(P.20)



2 カートリッジカバーを開ける。

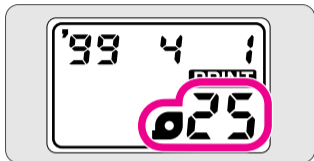
- ▼開閉レバーを矢印方向に押し、カートリッジカバーを開ける。
- 電池容量が不足しているときは、カートリッジカバーは開きません。




3 フィルムを入れ、カートリッジカバーを閉じる。

- IX240カートリッジフィルムをご使用ください。(従来の35mmフィルムは使用できません)
- 使用状態マークが“○”(未使用)であることを確認してください。(P.13)
- カートリッジカバーはカチッと音がするまで、しっかり閉じてください。

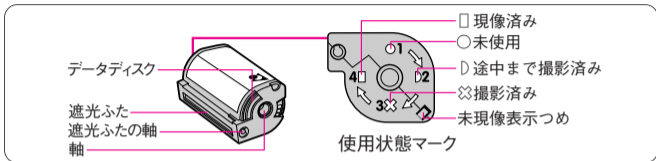
IX240カートリッジフィルムについて



4 撮影可能枚数表示と“”を確認する。

- 撮影可能枚数が表示されないときは、フィルムを入れ直してください。
- 使用状態マークが“”（撮影済み）のフィルムを入れると、“E”が点滅します。

フィルムが装てんされているときは、カートリッジカバーのロック機構が働いていますので、カートリッジカバーを無理に開けないでください。また、巻き戻しが完了するまでカートリッジカバーを絶対に開けないでください。

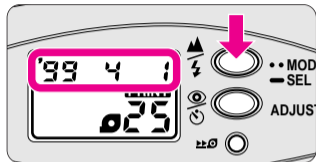


- IX240カートリッジフィルムには、40枚・25枚・15枚撮りの3種類のフィルムがあります。
- フィルムの先端部分は、カートリッジ内に収納されていますが、カメラに装てんすると自動的に引き出されて撮影可能な状態になります。
- カートリッジの使用状態マークはフィルムの使用状態を4段階で示します。

取り扱い上のご注意

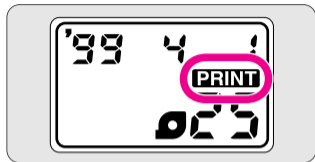
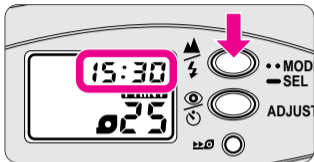
- データディスク・遮光ふたまたは軸に触れたり、分解したり、強い衝撃を与えないでください。
- 未現像表示つめを折らないでください。折れたときは、フィルム販売店などにご相談ください。
- 次のような所に放置しないでください。
 - ・直射日光が当たる
 - ・暖房器具の近く
 - ・チリやホコリが多い
 - ・湿気が多い
 - ・強い磁気がある

日付を入れる



日付表示を選ぶ。

- ▼電源をOFFにして、MODEボタンを押す(最初のみ2度押す)。
- 年は西暦の下2桁で、時分は24時間制で表示・印字されます。
- 日付を入れないときは、“- - -” (印字なし)にしてください。



- MODEボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



- “PRINT”が表示されている状態で撮影すると、表示されている日付や時刻がプリントに印字され、“- - -”の場合には印字されません。
- プリントに印字される位置は、認定ラボ店にお問い合わせください。

撮影してみよう!



- 横に構える場合は、両ひじを体につけながら、手のひらに包みこむようにして、カメラを顔に押し当てるようにします。
- しっかりと構えることで、手ブレを防止できます。

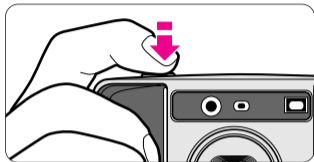
手や髪の毛などで、レンズ、オートフォーカス測距窓やスピードライトなどをおおわないでください。

カメラの構え方



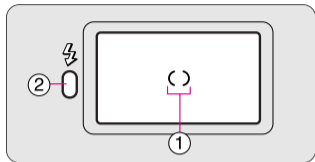
- 縦位置に構える場合は、スピードライトが上になるようにしてください。

シャッターボタンの押し方



- シャッターボタンを軽く押して途中で止める操作を“半押し”と呼びます。半押しするとピントと露出が決まり、赤ランプが一瞬点灯します。半押し中はピントが固定(フォーカスロック P.22)されます。半押しのまま、さらにカチッと音がするまで押し込むとシャッターがきれます。

ファインダーを見る



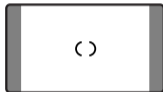
- ①オートフォーカスフレーム
ピントを合わせる部分です。
- ②赤ランプ
シャッターボタン半押しでピント合わせ動作が完了すると、一瞬点灯します。また、半押し時、フラッシュの充電が完了していると点灯を続けます。未充電の時は、点滅しシャッターはきれません。

撮影範囲フレーム

プリントタイプ(C/H/P)によって見える(撮影される)範囲が異なります。

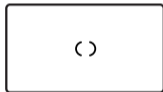
Cタイプ

(縦横比 2 : 3)
(従来の35mmフィルムと同じ縦横比)



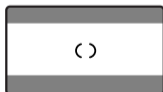
Hタイプ

(縦横比 9 : 16)

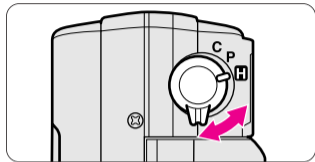


Pタイプ

(縦横比 1 : 3)



プリントタイプを選ぶ



撮影の前に、切り換えレバーでプリントタイプを選ぶ。

- 3種類のプリントタイプ(C/H/P)が選べます(※P.10)。タイプによって撮影範囲フレームが異なります。
- プリントタイプは、焼き増しの際に変更することもできます。



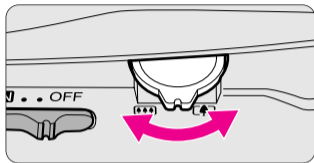
注意



切り換え
禁止

ファインダーをのぞいた状態で切り換えレバーを操作しないこと
指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

ズーミングする



ズームレバーを押して被写体の大きさを決める。

▼好みの大きさになったら、ズームレバーから指を離す。

●カメラを操作しないまま、約3分間経過すると、自動的にレンズが ⋮ (広角) 側に戻ります。



●側を押すと、望遠(48mm)側になり、遠くのを大きく撮れます。



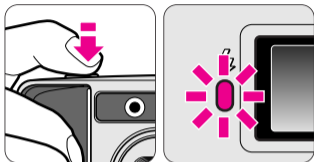
⋮側を押すと、広角(24mm)側になり、広い範囲が撮れます。

ピントを合わせ、撮影する



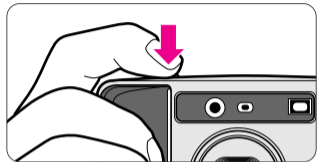
1 構図を決める。

- ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを重ねてください。



2 ピントを合わせる。

- ▼シャッターボタンを半押しする。
- ピント合わせ動作が完了すると、赤ランプが一瞬点灯します。
- ピントが合う最短撮影距離は、0.6mです。



3 シャッターボタンをゆっくり押し込む。

- 被写体が暗いときには、赤ランプが点灯して、フラッシュが自動的に発光します。(P.23)
- 撮影されると、表示パネルの撮影可能枚数が1枚ずつ減ります。
- 一気にシャッターボタンを押すと手ブレの原因となります。

撮影後は、電源をOFFにして、電池の消耗を防いでください。

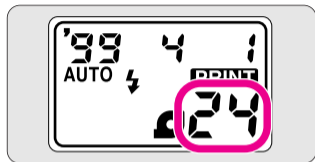
ピントの合いにくいケース

次のような被写体はピントが合いにくいので、フォーカスロック(☞P.22)を利用して、ほぼ等距離にある別の被写体に一度ピントを合わせてから撮影してください。

- オートフォーカスフレームをカバーできない小さな被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛など黒くて光を反射しにくいもの
- 光っている車のボディや水面など光沢のあるもの
- 花火、ロウソクの火など、実体のないもの
- ピントを合わせたい被写体の手前に、別の被写体があるとき

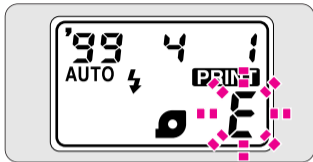


フィルムを取り出す



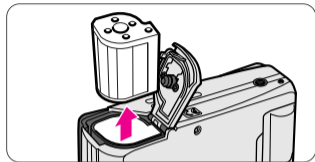
1 自動的に巻き戻しが始まる。

- フィルムを撮り終わると、自動的に巻き戻しが始まります。
- 巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が1枚ずつ減ります。
- 撮影可能枚数が表示されているときは、撮り終わっていません。途中でフィルムを取り出したい場合は、途中巻き戻しを行ってください。(P.21)



2 “E”の点滅を確認する。

- 巻き戻しが終了すると“E”が点滅し、カートリッジカバーのロック機構が解除されます。
- 電池容量不足のために巻き戻しが途中で止まったときは、電池を交換すると、巻き戻しが自動的に再開されます。
- 電池容量が不足しているときは、カートリッジカバーは開きません。



3 カートリッジカバーを開け、フィルムを取り出す。

“E”が点滅するまで、カートリッジカバーを開けないでください。

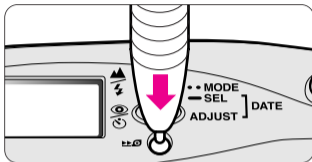
- 巻き戻したフィルムを取り出さないと、シャッターをきることや日付の変更ができません。
- カメラの底面を上にしてカートリッジカバーを開けてください。

現像・プリントに出す



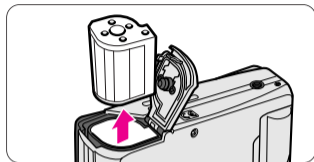
- フィルムの現像・プリントは、上記の「認定ラボ店マーク」があるお店に出すことをおすすめします。
- 現像されたフィルムは、カートリッジに収納されて返却されます。
- すべての写真をまとめたインデックスプリントが添付されます。
- 詳細はお店にお問い合わせください。

フィルムを途中で巻き戻す



1 ボタンを押す。

- ボールペンの先端などで押ししてください。
- 巻き戻しが始まればボタンを押し続ける必要はありません。
- 巻き戻しが終了すると、“E”が点滅します。“E”が点滅するまでカートリッジカバーを開けないでください。



2 フィルムを取り出す。

- ▼カートリッジカバーを開ける。
- ▼フィルムを取り出す。

途中巻き戻しを行ったフィルムは再使用できなくなりますので、ご注意ください。(使用状態マーク(P.13)が“撮影済み”に切り換わります。)

応用して楽しもう!



1 構図を決める。

- 上のような場合、写したい被写体がオートフォーカスフレーム“()”から外れるため、背景にピントが合ってしまう。

フォーカスロック撮影

写したいものが画面中央にないときに



2 写したいものにピントを合わせる。

- ▼ 写したいものにオートフォーカスフレームを重ねる。
- ▼ シャッターボタンを半押しする。

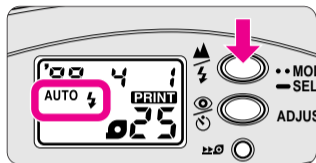
- ピントが合うと赤ランプが一瞬点灯します。



3 構図を戻し、撮影する。

- ▼ シャッターボタンを半押ししたまま、構図を戻す。
- ▼ シャッターボタンを押し込む。
- 半押し中は、ピントが固定(フォーカスロック)されます。
- 撮影距離は変えないでください。

いろいろなフラッシュ撮影



⚡ ボタンを押して、以下のモードを選ぶ。

● 詳細は参照ページをご覧ください。

⚡ AUTO ⚡ スピードライト自動発光 (P.23)

▲ 遠景モード (P.27)

⚡ スピードライトキャンセル (P.24)

⚡ スピードライト強制発光 (P.24)

⚡ AUTO SLOW ⚡ スローシンクロ (P.25)

● 電源をOFFにしたときは、スピードライト自動発光モードに戻ります。

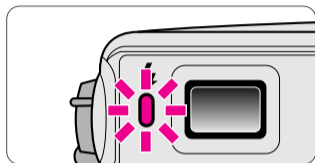
スピードライト自動発光撮影

被写体が暗いときには、フラッシュが自動発光します。



1 電源をONにする。

- “AUTO ⚡”が表示され、スピードライト自動発光モードにセットされます。
- 被写体が暗い場合、フラッシュが自動的に発光します。
- 被写体が明るい場合、表示パネルに“⚡”が点灯し、フラッシュは発光しません。

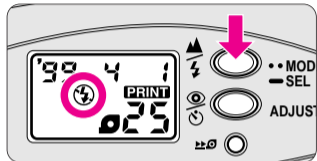


2 赤ランプの点灯を確認し、撮影する。

- フラッシュ撮影時の撮影距離は下記を目安にしてください。(ISO 200)
☐ (広角) 24mm時: 約0.6~5.3m
⬆ (望遠) 48mm時: 約0.6~2.8m
- フラッシュが未充電の場合、半押しで赤ランプが点滅し、シャッターがきけません。再度半押しし、赤ランプが点灯してからシャッターボタンを押してください。

スピードライトキャンセル撮影

フラッシュ撮影が禁止されているときや、夜景の雰囲気を生かしたいときに。



1 ⚡ ボタンを押して、“⚡”を表示させる。

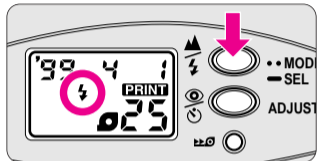
- シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。

2 構図を決め、撮影する。

- ▼シャッターボタンを半押し後、ゆっくり押し込む。

スピードライト強制発光

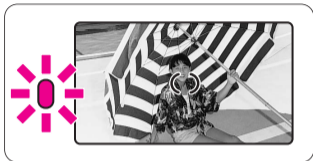
周りの明るさに関係なく、意図的



1 ⚡ ボタンを押して、“⚡”を表示させる。

撮影

にフラッシュを発光させたいときに。



2 構図を決め、撮影する。

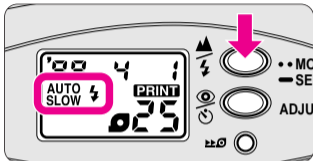
▼シャッターボタンを半押しする。

▼赤ランプの点灯を確認後、撮影する。

- 半押しで赤ランプが点滅しているときは、もう一度半押しし、赤ランプが点灯してから、シャッターボタンを押してください。

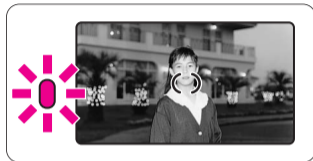
スローシンクロ撮影

背景となる夜景と手前の人物の両方を、自然な感じに写したいときに。



1 ⚡ボタンを押して、“AUTO SLOW ⚡”を表示させる。

- シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体が明るい場合、表示パネルに“⚡”が点灯し、フラッシュは発光しません。



2 構図を決め、撮影する。

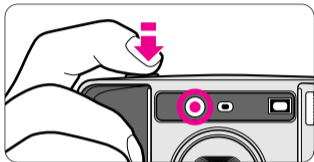
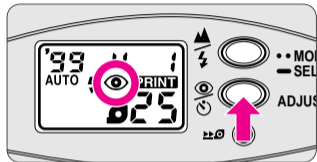
▼シャッターボタンを半押しする。

▼赤ランプの点灯を確認後、撮影する。

- 半押しで赤ランプが点滅しているときは、もう一度半押しし、赤ランプが点灯してから、シャッターボタンを押してください。

赤目軽減発光撮影

フラッシュの光で目が赤く写るのを軽減したいときに。



1 眼アイコンを押して、“眼”を表示させる。

- ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

→ (表示なし) 解除



赤目軽減発光



セルフタイマー (P.27)

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする。

- フラッシュの発光前に、赤目軽減ランプを瞬間的に照射させますので、フラッシュが発光するまでカメラを動かしたり被写体が動いたりしないように注意してください。

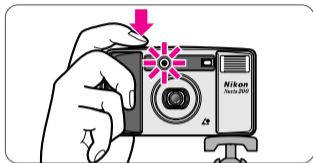
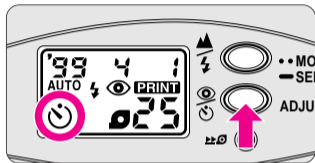
- 赤目軽減発光撮影は、シャッターチャンス優先の撮影にはおすすりできません。



3 赤ランプの点灯を確認後、撮影する。

- 赤ランプが点滅しているときは、再度半押しし、赤ランプが点灯してから、シャッターをきってください。
- 赤目軽減発光を必要としない場合は、眼アイコンを押して、“眼”を消灯させてください。なお、電源をOFFにすると、赤目軽減発光は解除されます。
- 赤目軽減発光とスピードライトキャンセルは同時にセットできませんが、この場合赤目軽減発光撮影は行われません。

セルフタイマー撮影

記念撮影など、撮影者自身も一緒に写りたいときに。



1 時計ボタンを押して、“ ”を表示させる。

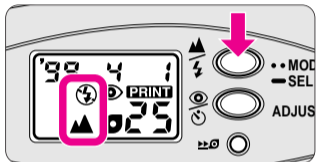
- 撮影しないまま約3分間経過したり、電源をOFFにすると、セルフタイマーモードが解除されます。
- カメラを三脚などに固定することをおすすめします。



2 構図を決め、シャッターボタンを押す。

- シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが8秒間点滅後、2秒間点灯してシャッターがきれます。
- 撮影後、セルフタイマーモードは解除されます。
- 途中で解除したい場合は、電源をOFFにしてください。

遠景撮影

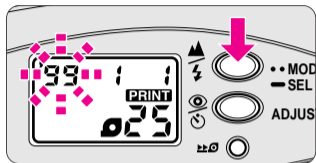
遠くの景色や窓越しの風景をシャープに写したいときに



▲ ボタンを押して、“ ”を表示させ、撮影する。

- フラッシュは、発光しません。

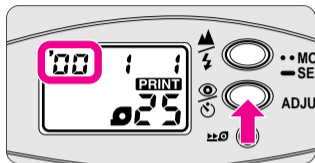
日付と時刻を修正する



1 修正モードにする。

- ▼電源をOFFにして、SELボタンを2秒以上押し続ける。

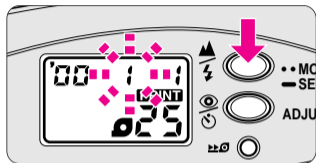
- “年”が点滅します。



2 年を合わせる。

- ▼ADJUSTボタンを押して、年を合わせる。

- ADJUSTボタンを押すごとに、“1”ずつ数字が増えます。
- ADJUSTボタンを2秒以上押し続けると、数字が早送りされます。



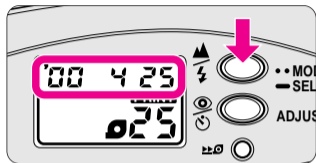
3 月の修正に移る。

- ▼年を合わせたら、SELボタンを押し、月を点滅させる。

- ▼ADJUSTボタンを押して、月を合わせる。

- ▼SELボタンを押す。

- 手順2と3を繰り返し、“日・時・分”を合わせます。



4 修正を終える。



- ▼分を合わせたら、SELボタンを押す。
- SELボタンを押すと修正された日付が表示されます。
- 修正途中で、電源をONにすると、その時の状態で設定されます。
- イラストの例は“2000年4月25日”にセットした状態を表わします。

電池を交換した場合

- 電池を交換すると、表示パネルには“- - -”が表示されます。
- “- - -”の表示のまま撮影すると、日付や時刻は記録されません。
- 前ページの手順1～4に従って、“年月日”と“時分”を合わせてください。

故障かな？と思ったら

次のような場合、アフターサービスを依頼される前にご確認ください。

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“シャッターがきれない”	●シャッターボタンを半押ししたとき赤ランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、再度半押しし赤ランプが点灯してから撮影してください。	16、23
	●表示パネルに“E”と“  ”マークが表示されていたら、そのフィルムは使用できません。新しいフィルムを入れてください。	12、20
“スピードライトが発光しない”	●シャッターボタンを半押ししたとき赤ランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、再度半押しし赤ランプが点灯してから撮影してください。	16、23
	●電池容量を確認して、消耗していたら新しい電池と交換してください。	11
	●表示パネルに“  ”マークが表示されているときは、発光しません。	23
“ピントが合っていない”	●オートフォーカス測距窓がよごれていたら、拭き取ってください。	8
	●手ブレを起こさないように、シャッターボタンをゆっくり押しってください。	15
	●ピントが合いにくい被写体の場合は、オートフォーカスフレームを確実に被写体に合わせてください。または、フォーカスロック撮影を行ってください。	19、22

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“カートリッジカバーが開かない”	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルムを撮り終えていません。フィルムを撮り終えるか、途中巻き戻しを行って、フィルムの巻き戻しを完了させてください。 ● 電池容量が不足しているときは、カートリッジカバーは開きません。新しい電池に交換してください。 	<p>13、21</p> <p>11、12、20</p>
“電源をONにしたとき表示パネルに何も表示されない”	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の⊕／⊖の向きを確かめてください。 ● 電池の容量が不足しているか、電池が入っていません。新しい電池を入れてください。 ● 新しい電池を入れても、何も表示されない場合は、故障です。ご購入店・カメラ店または最寄りの当社サービス機関へ修理を依頼してください。 	<p>11</p> <p>11</p> <p>裏表紙</p>

電子制御カメラの特性について

きわめて稀なケースとして、外部から強力な静電気などが侵入したことで、カメラが作動しなくなることがあります。万一このような状態になったときは、電池を一度抜いて入れ直してください。電池を抜くと日付・時刻がリセットされますので、電池を入れ直した後は、日付・時刻を合わせ直してください。(P.28)

アフターサービスと保証について

■この製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問は、最寄りのニコンサービスセンター、サービスステーション等、当社サービス機関へお問い合わせください。

当社サービス機関につきましては、使用説明書裏表紙をご覧ください。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。

ご転居、ご贈答品などの理由で、ご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

ニコンNuvis 200の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年間を目安としております。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても修理可能な場合もありますので、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

- 水没、火災、落下などによる故障または破損で、全損と認められた場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

■製品の保証について

- (1) この製品には「保証書」がついていますので、ご確認ください。
- (2) 「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様にお渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」がすべて記入された「保証書」をお受け取りになり、内容をお読みの上、大切に保管してください。
- (3) 保証規定による保証修理は、ご購入から1年間となっております。「保証書」をお受け取りになりませんと上述の保証修理が受けられないこととなりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。
- (4) 海外での保証内修理は領収書の提示を求められることがありますので、保証書とともに領収書の携行をお願い致します（領収書がない場合は有料となる場合があります）。
- (5) 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。
- (6) 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスにご不明なことがありましたら、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

使用上のご注意

カメラについて

- カメラをご使用にならないときは、必ず電源をOFFにしてください。電源がONの状態のままですと、不用意にシャッターボタンが押されて、電池が消耗することがあります。
- Nuvis 200は、防水構造ではありません。水しぶきなどがかからない場所で使用してください。もし水滴がついた場合はすぐに乾いた布でふき取ってください。
- 閉めきった自動車やトランクの中、ストーブの前など、高温になるところに放置しないでください。
- カメラを保管する際は、高温多湿・ホコリっぽい場所、また防虫剤の近くを避けてください。乾燥剤と一緒に保管することをおすすめします。
- スピードライトを連続して発光すると、電池やカメラの温度が上昇します。休ませながら使用してください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ホコリや汚れは、乾いた柔らかい布・市販のプロワーブラスシヤレンズクリーナーなどで取り除いてください。

- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。また、スピードライトのコンデンサの劣化を防ぐため、1ヵ月に1度を目安に、電池を入れてスピードライトを発光させてください。

電池について

- 付属の電池は、容量が少なくなっている場合があります。ご使用前に、電池の容量を確認してください。(P.11)
- 大切な撮影の前には、必ず電池の容量を確認し、海外旅行などの際には、予備の電池をご用意ください。
- 寒冷地(0℃以下)では、一時的に性能が低下しますので、暖めてからご使用ください。なお、一時的に性能が低下した電池は、通常、常温に戻れば性能を回復します。

IX240フィルムについて

- 海外旅行などで、地域によってはフィルムの入手が困難な場合があります。予備のフィルムを用意しておくことをおすすめします。

主な仕様

型式

ズームレンズ内蔵IX240オートフォーカスAEレンズシャッターカメラ

使用フィルム

IX240カートリッジフィルム(画面サイズ：16.7×30.2mm)

プリントタイプの切り換え

C/H/Pの3タイプのいずれかを選択可能

レンズ

ニコンズームレンズ24～48mm F4.5～8.4、4群5枚(35mm判換算：30～60mm)

シャッター

プログラムAE式電子シャッター(絞り羽根兼用)、シャッター速度1/5～1/360秒

ファインダー

実像式ズームファインダー、視野率：約85%(Hプリントタイプに対して)、倍率(24mm時：約0.32倍、48mm時：約0.6倍)

ファインダー表示

撮影範囲フレーム(C/H/Pタイプ)、オートフォーカスフレーム、測距完了表示(赤ランプ瞬点灯)、スピードライト発光予告(赤ランプ点灯)/未充電警告(赤ランプ点滅)

距離合わせ

赤外線アクティブ方式、撮影距離：0.6m～∞

フォーカスロック

シャッターボタン半押しによるフォーカスロック付き

露出制御

電子制御プログラムAE、AE連動範囲(ISO200)：EV8～15(24mm)/EV9～16(48mm)、スピードライト自動発光

使用可能フィルム感度

ISO 50、100、200、400、800、1600は自動セット

フィルム装てん

ワンタッチローディング空送り機構内蔵、フィルム誤装てん防止機能付

フィルムカウンター

撮影可能枚数を表示

セルフタイマー

電子制御式、シャッターボタンによるスタート、ボディ正面に作動表示(作動時間：10秒、点滅/点灯2段階)

フィルム巻き上げ機能

内蔵モータによる電動式(スプールドライブ方式)、自動空送り、フィルム最終コマ検出による自動巻き戻し、途中巻き戻し可

スピードライト

自動発光、発光禁止、強制発光、スローシンクロの4モード切り換え可能、未充電時シャッターボタンロック付、スピードライト連動範囲：(ISO 200の場合)約0.6~5.3m(24mm時)約0.6~2.8m(48mm時)、充電時間：約6秒

赤目軽減モード

設定時、スピードライト発光する場合にランププリ照射(約1秒間点灯)

撮影可能本数

25枚撮りフィルム約10本(50%スピードライト撮影時)

表示パネル

電源スイッチON時：フィルムカウンター、スピードライト表示、赤目軽減表示、セルフタイマー表示、カートリッジ在中表示、遠景撮影モード表示、バッテリーチェック表示、データ記録表示、デート表示

使用電源

3Vリチウム電池 CR2×1個

デートの種類：年・月・日・時・分(24時間制)、[年・月・日]、[月・日・年]、[日・月・年]、[時・分]、[記録なし](切り換えは押しボタン式、2037年まで月末、うるう年自動調整、データ早送り修正可能)、電源：ボディの電源を使用、時計精度：月差±90秒以内

大きさ(幅×高さ×奥行き)

約108.5×62.5×33mm

重量

約170g(電池別)

- データはすべて、20℃、新品電池使用時のものです。
- 製品の外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

株式会社 **ニコン**

Nikon

<お客様相談室>

ニコンカメラのお問い合わせ専用窓口です。

●100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 (三菱ビル1階)

営業日：土・日・祝祭日を除く毎日です。

☎(03)3216-1010 FAX(03)3287-0897

営業時間：9:00～17:45

本社 100-8331 ●東京都千代田区丸の内3-2-3 ・富士ビル

T9F2000201(K640)10